

平成23年行政事業レビューシート（外務省）										
事業名		パブリックフォーラム開催経費			担当部局庁		総合外交政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		平成17年度開始			担当課室		国連企画調整課		課長 久野 和博	
会計区分		一般会計			施策名		Ⅱ－1 国際の平和と安定に対する取組			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		外務省設置法第4条第3項			関係する計画、通知等		－			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		国連改革や地球規模課題に対する国連の取組に関する議論が盛り上がりを見せる中、21世紀にふさわしい国連を実現するための国連改革の現状や課題につき、政府関係者と一般市民の意見交換の場を設け、我が国の国連政策に対する理解の増進及び世論形成を目指す。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)		平成17年6月、「国連改革を考えるNGO連絡会」(日本国際ボランティアセンター、市民外交センター、ピースボートによる連合体)により、国連改革に関する日本政府への提言が外務省に提出されたことを踏まえ、同NGO連絡会と外務省との共催により年1～2回開催されている。 開発、人権、平和構築、軍縮といったテーマについて、NGO、政府、国際機関、大学・研究機関、企業、メディア、ユースなど幅広い参加を得て、意見交換を実施。平成22年度は、平成23年2月18日に、JICA地球ひろばにおいて「グローバルな国連・教育プログラムの課題と可能性」と題して実施。「国連持続可能な開発のための10年」に触れつつ、人権教育や軍縮教育に焦点を当てた議論を行った。参加者は約80名。								
実施方法		■直接実施 □業務委託等 □補助 □貸付 □その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		予算の状況	当初予算	0.7	0.7	0.5	0.1	0.1		
			補正予算	－	－	－	－			
			繰越し等	－	－	－	－			
			計	0.7	0.7	0.5	0.1	0.1		
		執行額		0.2	0.1	0.1				
		執行率(%)		23.1%	9.2%	12.5%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
		パブリック・フォーラムへ約150名の出席目標とともに、結果をHPIに掲載し、広く周知する。			成果実績	人	50	80	80	150
					達成度	%	－	－	53	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		パブリックフォーラム開催回数			活動実績 (当初見込み)	回	1	1	1 (1)	－ (1)
単位当たりコスト		65,680(円／ 1回)			算出根拠	65,680円＝65,680(開催総経費)/1回(開催回数)				
平成23・24年度予算内訳 (単位：千円)	費 目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	借料		55	55						
	会議費		33	28						
	謝礼		30	34						
	計		118	117						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	有識者については、取り上げるテーマについて専門的な知見を持つ有識者を招いており、競争性のない随意契約となっている。 会場については、実施形態、セキュリティ、支払方法の観点から妥当性を検討して選定しているため、競争性のない随意契約となっている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本件は、NGOとの共催事業であり、反省会等を通じてNGOと協議しつつフォーラムの実施時期、開催形態、テーマなどを議論している。過去の協議の結果、会議形式の合理化（複数の分科会の廃止）、開催時間の短縮等を行って費用節減に努めてきた。 今後は、より一層の参加者数の拡大を図るべく、対象聴衆の明確化、参加者の関与度拡大、アウトリーチの強化についてNGOと協議を行い、より活発な意見交換の場とするべく努力する予定である。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		事業見直し等による減	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
縮減（事業見直し等による減）			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

外務省
0. 1百万円

(パブリックフォーラムの開催経費)

【競争性のない随意契約】

A:有識者
0. 02百万円

(司会・総括)

【競争性のない随意契約】

B:(独)国際協力機構広尾センター
0. 01百万円

(施設使用料)

【競争性のない随意契約】

C:(株)T社
0. 04百万円

(会場設営, コーヒー)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	司会・総括	0.02	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国際協力機構広尾センター	施設使用料	0.01	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)T社	会場設営, コーヒー	0.04	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					